

TOPIC 01

Co-program カテゴリーA (共同制作)

Co-program カテゴリーA(共同制作)では、アーティストと京都芸術センターが共に公演の制作・発表に取り組みます。2018年度は演劇・ダンス・音楽の分野から計5団体が選ばれ、うち3団体(笑の内閣、MuDA、Ensemble FOVE)が11月に公演を行います。今回は、そのうちMuDA衝突ダンスパフォーマンス『立ち上がり続けること』、Ensemble FOVE presents『TRANS』を紹介し

Co-program カテゴリーA採択企画

第26次笑の内閣
『そこまで言わんでモリエール』
京都公演
日時：10月31日(水)19:30、11月1日(木)、
2日(金)14:00/19:30、3日(土)祝
13:00/17:30、4日(日)11:00/15:30
会場：フリースペース

荒木優光
『ひろいうみ』
日時：12月7日(金)19:00
8日(土)14:00/19:00
会場：講堂

神里雄大/岡崎藝術座
『いかげんな訪問者の報告
(アサド・おにぎり付き)』
日時：2019年1月16日(水)-18
日(金)19:00、19日(土)-
20日(日)18:00
会場：フリースペース

MuDA 衝突ダンスパフォーマンス
立ち上がり続けること

京都を拠点に活動するハイパーパフォーマンスグループ「MuDA」の新作を上演します。「生命の振起活動」の体現、伝播を活動の目的とするMuDAが、今回は京都芸術センターの講堂を会場に、シアターピースを創作します。

MuDAの近年のパフォーマンスは、衝突と振動を軸に発展しながらも、ギャラリー跡地や寺院、砂浜など、その場所の個性から引き出される儀式的なムーブメントが特徴として挙げられます。今回の『立ち上がり続けること』では一転し、外界から隔絶された空間において、肉体がエネルギーそのものに変化する様子を観客の目に突き付けます。倒れては、また起き上がる。言葉にしてしまえばあまりにシンプルですが、「生きること」についての普遍的な問いがそこに見出されます。高濃度に凝縮されたMuDAの最新の瞬間を、どうぞお見逃しなく。

Profile

MuDA(ムーダ)

ダンサー、演出家のQUICKを中心に、2010年京都で発足したハイパーパフォーマンスグループ。立ち上がり続けること、ぶつかり始め続けること、負荷を転換し続けること、それら生の必須事項「生命の振起活動」の体現、伝播を活動の目的とする。肉体を世界と衝突させ続ける独自のダンスと、MuDA振起活動論に基づく構築、破壊、循環術を軸に、身体、物体、映像、整体、食物等を開発、使用した「生命」のアート活動を、内外で総合的に展開している。近年の主な作品は『ゴミが空から降ってくる』(京都、2018)、『SEMEGIAI Random』(台中、ジャカルタ、ジョグジャカルタ、北海道、京都、2015-2018)、『MuDA 鉄』(瀬戸内国際芸術祭2016・犬島パフォーマンスアートプログラム)、『MuDA 海男』(瀬戸内国際芸術祭2016・高見島プロジェクト)、等。
http://muda-japan.com/

明倫ワークショップでもたびたび登場する「MuDA整体」や、メンバーが愛飲する微生物ドリンクなど、MuDAの実践は彼らのライフスタイルそのものでもあります。国内外各地で活動するMuDAですが、実は京都での上演は貴重な機会となります。ぜひお立ち会いください!
平野春菜(アートコーディネーター)

MuDA衝突ダンスパフォーマンス『立ち上がり続けること』

日時：11月23日(金)祝、24日(土)19:00、25日(日)15:00

会場：講堂

料金：一般前売3,000円/当日3,500円、学生前売2,000円/当日2,500円、ペア5,000円(前売のみ)

チケット取扱：京都芸術センター、MuDA

E-mail: muda.reserve@gmail.com

主催：MuDA、京都芸術センター

※イベント情報(P2)もご覧ください

photo by yixtape

Ensemble FOVE presents
TRANS

作曲家・坂東祐大をはじめ、国内外で活躍する若手演奏家たちにより構成されるEnsemble FOVE(アンサンブル・フォーヴ)が、初の京都公演を開催します。

2018年春には東京で、5階建てのビルの中を鑑賞者が移動しながら、展示のように音楽を体験するプロジェクト『SONAR-FIELD』を実施。建物の構造を生かして複数の「見え方」「聴こえ方」に挑み、坂東の書き下ろした新曲を披露するにとどまらない、新しい鑑賞のあり方を提案しました。

新作となる『TRANS』では、生演奏とスピーカーから流れる音の一つの空間の中で融合します。現在、演奏家たちと共にスタジオで録音・作曲中の坂東。11月には一定期間京都に滞在し、実際の空間に身を置いて聴覚・視覚の要素を更に追求します。

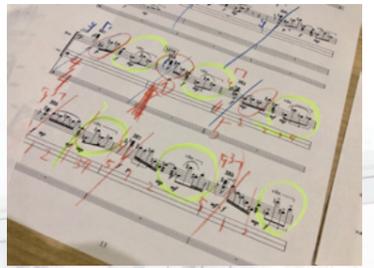
公演では果たしてどのような感覚が得られるのでしょうか。彼らの挑戦にご期待ください

現在、鋭意製作中のTRANSでは、約20名からなるアーティストが演奏した大量の音素材を徹底的に再デザインし、全8曲からなる音楽をお届けします。今回の公演では、講堂内に複数のスピーカーから成る“立体音響”がセッティングされ、まるで3Dのように響き渡ります。これらが、Ensemble FOVEによる6人のプレーヤーの生演奏と有機的に絡み合い、現実とヴァーチャルの境界線をあやふやにします。

実際に体感していただくと、膨大な音による情報量にただただ圧倒されてしまうかもしれません(現在、実際に立体音響のセットをプライベートスタジオにて組んで作業しているのですが、作曲中、自身でも度々となぐらしたような不思議な感覚を覚えます)。お披露目がとても楽しみです。

エキサイティングな公演となること間違いなしですので、異次元の体験をぜひ、生で体感してください!!!

坂東祐大(作曲家)



Ensemble FOVE presents『TRANS』

日時：11月27日(火)19:30、28日(水)15:00/19:30 会場：講堂

作曲：坂東祐大

出演：Ensemble FOVE(上野耕平[サクソフォン]、中川ヒデ鷹[ファゴット]、伊藤亜美[ヴァイオリン]、安達真理[ヴィオラ]、地代所悠[コントラバス]、荒木奏美[オーボエ]ほか)

料金：前売3,000円/当日3,500円

主催：Ensemble FOVE、京都芸術センター

※イベント情報(P2)もご覧ください

Profile

Ensemble FOVE(アンサンブル・フォーヴ)

第一線で活躍するクラシックの演奏家によって結成された、新進気鋭の次世代型アンサンブル。作曲家・坂東祐大の呼びかけによって、2014年から数回の単発企画を経て、2016年設立。ジャンルの枠を拡張する新しいアートの実験・実践を旨とし、新しい聴覚体験を提案する。2018年3月にはSHIBAURA HOUSEにて初のオリジナルプロジェクト『SONAR-FIELD』を開催。https://www.fove.tokyo/

10月のKYOTO EXPERIMENTの次はCo-program祭り!演劇、ダンス、音楽と、毎週異なるジャンルに触れられます。11月1日からCo-program 2019の募集も始まります。応募検討中の方はぜひ実際の公演を見てみてはいかがでしょうか。
奥村麻衣子(アートコーディネーター)

EVENTS

各種イベント申込方法（別途記載のあるもの、共催事業、制作支援事業は除く）
催し名・住所・氏名・電話番号を添えて、ウェブサイト申込フォーム、TEL、FAXで事前にお申ください。チケット窓口でも受け付けます。
※㊟印の公演は、京都芸術センター友の会のご招待券・ご優待割引対象公演です（制作支援事業は京都芸術センターチケット窓口取扱公演のみ優待。共催事業はご優待対象外）
その他、友の会特典詳細についてはウェブサイトをご覧ください
※各種年齢別・学生料金は要証明書示す

※お問い合わせ先は、お問い合わせ先欄をご覧ください

美術

変動する庭／変動させる庭
Co-program カテゴリーC(共同実験)採択企画。庭師にして美学研究者である山内朋樹、美術作家の池田剛介と共に、参加者をまじえた対話型のフィールドワークを行います。

第1回 無鄰菴：
「スケール——リテラルさと歪み」
日時：11月3日(土・祝)13:00集合
場所：無鄰菴(左京区)

第2回 平安神宮神苑：
「パターン——群れとダンス」
日時：11月17日(土)13:00集合
場所：平安神宮(左京区)

第3回 未定
日時：2019年2月で調整中

講師：山内朋樹(京都教育大学教員、庭師)
聞き手：池田剛介(美術作家)
料金：無料 ※交通費・入場料等は各自負担
定員：10名程度
※申込は終了しました
主催：池田剛介、山内朋樹、京都芸術センター

セレブレーション
ー日本ポーランド現代美術展ー
オープン・リサーチ・プログラム
#1 "Hiroshima/Love" project

広島、アウシュビッツ、ボンベイ。ポーランドの気鋭のアーティストによる、破壊の記憶と愛を体感するレクチャー・パフォーマンス。
日時：11月22日(木)19:00-20:30(予定)
会場：ミーティングルーム2
出演：ユリア・ホレヴィンスカ(劇作家、ドラマツルク)、トマシュ・シェルシェン(美術家、リサーチャー)、ラデク・ドゥダ(作曲家)
※参加無料・事前申込不要
※英語によるパフォーマンスです。一部、翻訳資料の配布を行います。

伝説

KAC Performing Arts Program 2018 / Traditional Performance
継ぐこと・伝えること 61
『享楽×呵々大笑ー落語ー』㊟
日時：11月17日(土)開場18:30 開演19:00
会場：大広間
出演：柳亭小痴楽(落語家)
司会：広瀬依子(追手門学院大学国際教養学部講師)
料金：一般前売1,800円／当日2,000円
高校生以下500円(前売・当日共)
※Topic02(P4)もご覧ください

TARO講座シリーズ

#4 篠笛を知る～祭りが育む日本の音～
篠笛は、祭のなかで育まれてきました。第一部では講師による篠笛の演奏と歴史や文化についてのレクチャーを、第二部では参加者が実際に篠笛を吹く体験をします。
日時：11月18日(日)
第一部 13:00-14:30(12:30開場)
第二部 14:30-16:00
会場：大広間
講師：森田玲(篠笛奏者)、森田香織(笛師)
定員：第一部 70名、第二部 30名
※無料・予約申込可(先着順。二部のみ予約不可、ただし見学自由。)

#5 三味線組歌ってなに？
～楽譜から読み解く三味線古歌謡～
三味線組歌は、すべての三味線音楽のなかで最初に生まれた芸術歌曲です。今回は、「乱後夜「晴嵐」を復原した井口はる菜氏を講師に招き、復原のプロセスについてお話いただきます。また三味線組歌の演奏もお届けします。
日時：12月23日(日・祝)14:00-16:00(開場13:30)
会場：大広間
講師：井口はる菜(関西外国語大学外国語学部講師)
出演：後藤愉香、鈴木由喜子、高橋要、林美恵子、林美音子、百武史子、吉田則子
曲目：「琉球組」千代の恵」「早舟」「乱後夜「晴嵐」
定員：70名
※無料・予約申込可(当日参加はお問い合わせください)

京都芸術センター叢書II 出版記念
「伝統芸能ことはじめ 番外編」
「伝統芸能ことはじめ」は、小林昌廣を講師に招き、2011年から6年間にわたり、伝統芸能で名作とよばれる演目を取りあげ紹介してきた講座です。それを、京都芸術センター叢書として書籍に纏めました。今回は出版を記念し番外編としてトークを開催します。

日時：12月22日(土)
14:00-15:30(13:30開場)
会場：大広間
講師：小林昌廣(情報科学芸術大学院大学教授)
定員：70名
※無料・要事前申込

音楽

第38回ベトロフピアノコンサート
～中欧の想い出～
1918年に明倫小学校に寄贈されたグランドピアノ(ベトロフ社製)によるコンサート。フルートの華麗な音色と共にお楽しみください。
日時：11月9日(金)開場18:30 開演19:00
会場：講堂
出演：小田裕之(ピアノ)、山村有佳里(フルート)
料金：1,000円(前売・当日共)
主催：明倫ベトロフの会、京都芸術センター

Ensemble FOVE presents『TRANS』㊟
Co-program カテゴリーA(共同制作)採択企画。
日時：11月27日(火)19:30
28日(水)15:00／19:30
会場：講堂
作曲：坂東祐大
料金：前売3,000円／当日3,500円
主催：Ensemble FOVE、京都芸術センター
※Topic01(P1)もご覧ください

演劇

第26次笑の内閣
『そこまで言わんでモリエール』京都公演㊟
Co-program カテゴリーA(共同制作)採択企画。
日時：10月31日(水)19:30
11月1日(木)、2日(金)14:00／19:30
3日(土・祝)13:00／17:30
4日(日)11:00／15:30
会場：フリースペース
作・演出：高間響
料金：一般予約3,300円／当日3,500円
U25予約2,800円／当日3,000円
高校生以下500円(前売・当日共)
問合せ：笑の内閣
E-mail：waraino.naikaku.ticket@gmail.com
主催：笑の内閣、京都芸術センター

荒木優光「ひろいうみ」㊟
Co-program カテゴリーA(共同制作)採択企画。
音響家・音楽家の荒木優光による、サウンド/ドラマの上演作品。
日時：12月7日(金)19:00
8日(土)14:00／19:00
会場：講堂
料金：一般前売2,500円／学生前売2,000円
当日3,000円(一般・学生共)
構成・サウンド：荒木優光
テキスト：松原俊太郎(劇作家)
主催：荒木優光、京都芸術センター

ダンス

MuDA衝突ダンスパフォーマンス
『立ち上がり続けること』㊟
Co-program カテゴリーA(共同制作)採択企画。
日時：11月23日(金・祝)、24日(土)19:00
25日(日)15:00
会場：講堂
料金：一般前売3,000円／当日3,500円
学生前売2,000円／当日2,500円
ペア5,000円(前売のみ)
チケット取扱：京都芸術センター、MuDA
E-mail：muda.reserve@gmail.com
主催：MuDA、京都芸術センター
※Topic01(P1)もご覧ください

フジタ・トリビュート・プロジェクト@京都
藤田嗣治回顧展の開催に合わせ、藤田を現代の視点から考えるトークを行います。
日時：11月4日(日)18:00-19:30
会場：講堂
登壇：浅田彰(批評家)、小沢剛(美術家)
モデレーター：林洋子(美術史家)
※無料・要事前申込
主催：フジタ・トリビュート・プロジェクト、京都芸術センター
※京都文化芸術コア・ネットワーク例会

日時：11月29日(木)19:00-21:00
会場：ミーティングルーム2
講師：久保田翠(NPO法人クリエイティブサポートレッツ代表)
主催：京都市
申込・企画：東山 アーティスト・プレイメント・サービス(HAPS)
TEL：075-525-7525
※無料・要事前申込

連続講座「共生社会実現のためのアーツマネジメント入門」
第7回「表現未満ー都市変革のオルタナティブ」
日時：11月29日(木)19:00-21:00
会場：ミーティングルーム2
講師：久保田翠(NPO法人クリエイティブサポートレッツ代表)
主催：京都市
申込・企画：東山 アーティスト・プレイメント・サービス(HAPS)
TEL：075-525-7525
※無料・要事前申込

ライブラリー

「あの人の、おすすめ本」
京都芸術センターに縁のあるあの人、この人からのおすすめ本をコメントとともに紹介します。今回は劇団ユニット「したため」主宰、KYOTO EXPERIMENT事務局の和田ながらさんです。
日時：10月1日(月)-12月24日(月・祝)
10:00-20:00
※休室日：10月31日、11月30日
会場：図書室

明倫ワークショップ

京都芸術センター制作室で創作活動を行うアーティストによるワークショップ。(参加無料)

絃楽合奏団B-one
「マンドリン音楽で聴く日本とイタリア」
日時：11月3日(土・祝)18:00-19:00
会場：制作室12
定員：20名
※土足不可のため、必要な方は上履きをお持ちください

ソノノチ「表現の引き出しを増やす」
日時：11月3日(土・祝)19:00-21:00
会場：制作室11
定員：10名
対象：高校生以上
持物：飲物
※動きやすい服装で越してください

下鴨車窓『「微熱ガーデン」公開稽古』
日時：11月5日(月)20:00-21:00
会場：制作室3
定員：10名

ニットキャップシアター
「親子で遊ぶ楽器タイムシアター」
日時：11月18日(日)11:00-12:30
会場：制作室7
定員：20名
対象：4才以上(小学生は保護者同伴)
※動きやすい服装で越してください

安住の地
「ワークイン・プログレス『トイトイ おもちゃ、それから人びと、すこしの言葉』」
日時：12月1日(土)19:00-21:00
会場：制作室1
定員：30名
持物：要らなくなったおもちゃ(あれば)

KACセレクション

中川佳代子箏・三弦研究室
『現代邦楽作品展～FINAL～』㊟
現代邦楽作品を紹介するシリーズの最終回。
日時：11月8日(木)開場18:30 開演19:00
曲目：杏越(山本邦山作曲)等
出演：中川佳代子(箏)、二代山本邦山(尺八)、中村公俊(ヴァイオリン)、丸田美紀(十七絃)
料金：前売2,500円／当日3,000円
中学生以下無料
主催・問合せ：中川佳代子箏・三弦研究室
E-mail：kayoko_kotokoto@ybb.ne.jp

SHIKIORI『IMA SONG LINES
～In search of Lights～』
宮古島とポーランドに残る“生きた古謡”のソングラインを辿る音楽公演と写真の展示。
日時：11月13日(火)開場18:00 開演19:00
会場：講堂
出演：マニュハ・ピコント、アサーフ・タルムディ、與那城美和、松永誠剛
写真・映像：エレーナ・ハマシアン
料金：3,500円(前売・当日共)
主催：SHIKIORI
問合せ：night cruising
TEL：050-3631-2006
E-mail：info@nightcruising.jp

地点『グッド・バイ』
太宰治の未完の遺作をモチーフに、敗戦後から死までをコラージュする、軽妙洒落な「グッド・バイ」。
日時：12月13日(木)-15日(土)
開場18:30 開演19:00
16日(日)開場14:30 開演15:00

会場：講堂
演出：三浦基
音楽：空間現代
料金：一般前売3,500円／当日4,000円
学生前売2,500円／当日3,000円

主催・問合せ：合同会社地点
TEL：075-888-5343
E-mail：info@chiten.org

制作支援事業

絃楽合奏団B-one「第14回演奏会」
日時：11月10日(土)開場18:00 開演18:30
会場：kokoka(京都市国際交流会館)イベントホール(左京区)
料金：無料
問合せ：絃楽合奏団B-one
TEL：070-6680-5412(池上)
E-mail：bone.concert@gmail.com

TICKETS チケット販売

みみきぎプログラム

#1 明倫レコード倶楽部
「喜怒哀楽のレコードの旅」㊟
日時：[其ノ67]哀の会
12月1日(土)
開場14:30 開演15:00
[其ノ68]楽の会
2019年3月2日(土)
開場13:30 開演14:00
会場：講堂
料金：500円(1ドリンク付)
講師：いしいしんじ(作家)

#2 素謡の会「うたいるあはせ」
第2回㊟
日時：12月18日(火)
受付18:00 開場18:30 開演19:00
会場：大広間(待合：講堂)
演目：〈親世流)経正、〈金春流)花月
出演：林宗一郎、田茂井廣道、高橋忍、山井綱雄、白坂信行
料金：前売1,500円／当日1,800円
※みみきぎプログラム共通の半券割引が利用できます

第252回市民狂言会
日時：12月7日(金)
開場18:30 開演19:00
会場：京都観世会館(左京区)
演目：福部の神 動入り、察化、鱧包丁、鏡男
出演：茂山千作、あきら、千三郎、千五郎、宗彦、茂、逸平、童司、忠三郎
料金：前売2,500円／当日3,000円
チケット取扱：京都芸術センター、大丸京都店、高島屋京都店、チケットぴあ(Pコード：488-237)
※団体券2,200円(20名以上)は京都芸術センターにて取扱
主催：京都市

チケットぴあで取扱いのチケットは、電話、びあ窓口、コンビニエンスストア(セブン・イレブン、サークルKサンクス)の専用端末などからご利用いただけます。
WEB：http://t.pia.co.jp TEL：0570-02-9999

※その他のチケット窓口取扱公演：主催事業および㊟印の共催事業・制作支援事業

OPEN CALL 募集

アーティスト・イン・レジデンス
プログラム2019：エクステンジ／ソウルダンスセンター
コレオグラファー募集

2019年8月-9月にソウルダンスセンターでリサーチ、クリエイションに取り組みコレオグラファーを募集します。
支援内容：
・制作費1,800,000韓国ウォン(約180,000円相当 ※2018年7月現在)
・往復航空券(日本-韓国間)
・宿泊場所、スタジオの提供
・コーディネートターのサポート
応募締切：11月15日(木)(必着)

Co-program 2019
共同制作・共同開催・共同実験
プラン募集
企画内容から広報、運営、発表まで京都芸術センターと共同で行う先駆的かつ実験的なプランを募集。
応募期間：11月1日(木)-30日(金)
事業実施期間：2019年4月1日(月)-2020年3月31日(火)

※詳細は要項及びウェブサイトをご覧ください

ソノノチ2018「つながせのひび」
日時：11月30日(金)16:00／20:00
12月1日(土)14:00／18:00
2日(日)12:00
会場：十色庵(東京都北区)
料金：予約・当日3,000円／ペア予約5,600円(当日精算)
前売2,700円／ペア前売5,000円(事前決済)
絵本付き5,000円／高校生以下1,000円(前売・当日共)

問合せ：ソノノチ
TEL：050-5318-7717(制作)
E-mail：info@sononochi.com

神里雄大／岡崎藝術座
『いいかげんな訪問者の報告
(アサード・おにぎり付き)』㊟
Co-program カテゴリーA(共同制作)採択企画。
日時：2019年1月16日(水)-18日(金)
19:00
19日(土)-20日(日)18:00
会場：フリースペース
料金：一般3,500円、高校生以下1,000円(前売・当日共)
主催：神里雄大／岡崎藝術座、京都芸術センター
※チケット発売 12月1日(土)

KIPPY採択企画
ブルーエゴナク『sad』
日時：12月14日(金)19:30
15日(土)15:00／19:00
16日(日)15:00
主催：ブルーエゴナク

安住の地
『ポスト・トゥルース・クレッシェンド・ポリコレバッシュナートファイナーレ!』
日時：2019年1月17日(木)-20日(日)
主催：安住の地
※チケット発売 11月18日(日)

akakilike『はじめてまして こんにちは、今私は誰ですか?』
日時：2019年2月15日(金)-16日(土)
主催：akakilike
※チケット発売 12月22日(土)

会場：ロームシアター京都 ノースホール(左京区)
料金：一般3,000円／当日3,500円
共催：ロームシアター京都、京都芸術センター、京都市

チケットぴあで取扱いのチケットは、電話、びあ窓口、コンビニエンスストア(セブン・イレブン、サークルKサンクス)の専用端末などからご利用いただけます。
WEB：http://t.pia.co.jp TEL：0570-02-9999

※その他のチケット窓口取扱公演：主催事業および㊟印の共催事業・制作支援事業

※お問い合わせ先は、お問い合わせ先欄をご覧ください

応募方法：所定の申請書・事業に関する企画書・予算書・活動資料をE-mailにてco-program@kac.or.jpまで提出してください。
※Topic04(P4)もご覧ください

レザルティスマーケティング2019京都
「創造的遭遇-アーティスト・イン・レジデンスの再想像」参加者募集
アーティスト・イン・レジデンス(AIR)に関する国際会議を、京都市、AIRの世界的ネットワークであるレザルティス(Res Artis)財団、文化庁と共同で開催します。
日時：2019年2月6日(水)-8日(金)
会場：京都芸術センターほか
参加費：レザルティス会員13,000円(早割)／16,000円(通常)
一般16,000円(早割)／19,000円(通常)
一日券 一般8,000円／学生3,000円
※早割は11月15日(木)まで
申込：レザルティスウェブサイト(http://www.resartis.org/en/meetings/upcoming_meetings/february_2019_-_kyoto_japan/)よりお申し込みください。
主催：京都市、京都芸術センター、レザルティス財団、文化庁



Photo by Renji Tachibana

TOPIC 02

KAC Performing Arts Program 2018 / Traditional Performance

継ぐこと・伝えること 61 享楽×呵々大笑—落語—

「継ぐこと・伝えること」では、伝統芸能の「現在」に着目し、実演や解説などを交えて伝統芸能をわかりやすく紹介し、芸能の継承の意義について観客と出演者がともに考える機会を創出してきました。今年度は、「享楽」をテーマとし、落語と日本舞踊を紹介します。

芸能の鑑賞には、観る者の心を掴んで離さない一種の中毒性がつきものです。この欲への欲求を「享楽」と捉え、時代を越えて人々を魅了し続ける、落語と日本舞踊の魅力を紐解きます。

「呵々大笑—落語—」では、東京を拠点に活動する柳亭小痴楽による実演とトークで、落語の醍醐味や寄席の魅力を紐解きます。柳亭小痴楽は、落語家・講談師によるユニット「成金」のメンバーとして旅公演やメディアへの出演など、精力的に活動を展開する注目の若手落語家。古典落語を得意とし、愛嬌があって憎めない登場人物と寄り添いながら落語をしていると話すと小痴楽は、落語へ、そして芸を磨くことについてどのような眼差しを向けているのでしょうか。トークでは、『上方芸能』元編集長で追手門学院大学講師の広瀬依子を聞き手に、上方・江戸落語を比較しながら、それぞれの魅力に迫ります。

うっかり心を奪われてしまう経験、あるのではないのでしょうか。伝統芸能は、芸能の歴史は長くとも、公演はいつも生もの。いつの時代にも魅了されて通うお客さまがいて、芸能は続くのだとしみじみと実感しています。
堀越芽生子(アートコーディネーター)

Profile

柳亭小痴楽(りゅうてい こちらく)
1988年、五代目柳亭楽の次男として生まれる。2005年、入門を申し出た途端に父が病に伏したため、二代目桂平治(現:桂文治)へ入門し、「桂ち太郎」で初高座。2008年、父の門下に移り「柳亭ち太郎」と改める。2009年、柳亭楽輔(父の弟弟子)門下へ。同年、二ツ目昇進を期に「三代目柳亭小痴楽」を襲名。落語芸術協会の若手落語家・講談師によるユニット「成金」を結成。好きなものは、読書・心霊スポット巡り・映画鑑賞・スポーツ鑑賞・洋服・お菓子・お酒・煙草。

KAC Performing Arts Program 2018 / Traditional Performance

継ぐこと・伝えること 61 享楽×呵々大笑—落語—
会場：大広間
日時：11月17日(土)受付18:00 開場18:30 開演19:00
出演：柳亭小痴楽(落語家)
司会：広瀬依子(追手門学院大学国際教養学部講師)
料金：一般前売1,800円/当日2,000円、
高校生以下500円(前売・当日共)

62 享楽×恍惚惚—日本舞踊—
2019年2月予定

TOPIC 03

アーティスト・イン・レジデンス プログラム： エクスチェンジ／グラナー

派遣アーティスト：相模友士郎

期間：2018年10月1日-23日

2017年度より開始した本プログラムでは、スペイン・バルセロナのアートセンター、グラナー(Graner)と協同で、スペインのアーティストが京都芸術センターに、日本のアーティストがグラナーに滞在し、リサーチを行います。

グラナーは、スペイン・バルセロナの身体表現に特化したアートセンターで、スタジオと住居を敷地内に備え、アーティスト・イン・レジデンスプログラムや、国内外のアートセンターおよびフェスティバルとの共同製作を行っています。施設の周辺地域の住民やアーティストとの関わりが深く、その地域で創作をする際のハブ機関として機能していることや、生活を基盤とした制作の在り方を模索し、創作環境の充実を目指すという施設のミッションに京都芸術センターとの共通点があり、協働を決めました。

昨年秋にはコレオグラファーのマヌエル・ロドリゲスが京都に滞在しましたが、現在は、演出家の相模友士郎がグラナーで滞在制作を行っています。相模は、10月1日-23日の約3週間で、「植物」と「うた」を切り口に、現地の庭師やアーティストとともに、公と私の狭間や、振り付けられた状態と素の身体との境界を探るリサーチを行っています。帰国後の報告会(後日詳細発表)をお楽しみに。

限られた期間ではありますが、グラナーの明るくフットワークの軽いスタッフの協力のもと、リサーチを今後どのように展開していくのか楽しみです。
堀越芽生子(アートコーディネーター)

Profile

相模友士郎(さがみ ゆうじろう)

演出家。1982年福井生まれ。70歳以上の伊丹の高齢者たちと制作した「DRAMATHOLOGY」(2009)で鮮烈なデビューを果たし、その後も様々なコミュニティに入り込みながら、劇場で見るという身体的経験を問直す上演を続ける。ダンス作品『天使論』(TPAM in YOKOHAMA 2012)を発表。最近作に、『スーパーインポーズ』(2016)、ダンサーの佐藤健太郎との共同制作による『ナビゲーションズ』(2014-)など。



リサーチより photo by Yujiro Sagami



グラナー



Co-program 2017 カテゴリーA 乃村健一「小さなオペラ【木の匙】」
撮影：大島拓也



Co-program 2018 カテゴリーC 増田美佳「mimacal」

TOPIC 04

Co-program 2019プラン募集!

アーティストと京都芸術センターが協働し、先駆的・実験的なプログラムに取り組むCo-program。11月1日より、2019年度に実施するプランの募集を開始します。

Co-programでは、公演、展覧会、リサーチのほか、発表の支援に特化した「KACセクション」の4つのカテゴリーを募集します。プランが採択されると、内容や広報の仕方など様々な面で京都芸術センターと共に協議・実験・フィードバックを重ね、プランを練り上げていきます。発表時期にもよりますが、ほとんどのプランにおいて半年以上、時間をかけて取り組んでいます。

2018年度は特にリサーチ(カテゴリーC)の分野において、一般の参加者と交流しながらプログラムを進める傾向が顕著に現れました。このように、一人ではなかなかできないことに取り組んだり、多様な視点からフィードバックを得られたりするの、京都芸術センターとの協働の特徴と言えるでしょう。多くの皆様からのご応募をお待ちしております!

Co-programの募集はこれで3回目。今回よりE-mailでの提出となりました。前回より変更となった点もありますので、最新の情報は京都芸術センターウェブサイトでご確認ください。どのようなプランに出会えるのか、楽しみです!!
奥村麻衣子(アートコーディネーター)

以下の4つのカテゴリーから選び、応募してください。

- カテゴリーA：「共同制作」(公演事業)
 - カテゴリーB：「共同開催」(展覧会事業)
 - カテゴリーC：「共同実験」(リサーチ、レクチャー、ワークショップ等)
 - カテゴリーD：「KACセクション」(演劇、ダンス、音楽、伝統芸能等の舞台芸術の分野で、発表に限定して支援を行う)
- 応募資格：意欲的な芸術表現を試み、市民との交流に対する意欲を持ちながら活動を継続的に展開している芸術家・芸術団体及びそれらを支援する個人・団体

応募期間：11月1日(木)~11月30日(金)
事業実施期間：2019年4月1日(月)~2020年3月31日(火)
※事業実施期間及び支援内容はカテゴリーに応じて異なります。詳細は要項及びウェブサイトをご覧ください
※募集情報(P2)もご覧ください

Since 1971
MAEDA'S COFFEE
KYOTO ART CENTER 1F
MIYOMACHI, TAKOYAKUSHI
NAKAGYOKU, KYOTO
TEL.075-221-2224
10:00~21:30 everyday

夏休み企画展「感覚のあそび場」
—岩崎貴宏×久門剛史—
2016年7月26日-9月11日
展覧会カタログ 定価 500円(税込)
京都芸術センター窓口、もしくは下記ウェブサイトよりご注文いただけます。
<http://www.kac.or.jp/shop/>

KYOTO ART CENTER 京都芸術センター



交通案内
○市営地下鉄烏丸線「四条」駅/
阪急京都線「烏丸」駅22番出口・24番出口より徒歩5分。
○市バス「四条烏丸」下車、徒歩5分。

開館時間
○ギャラリー・図書室・情報コーナー 10:00-20:00
談話室・チケット窓口 10:00-21:30
○カフェ 10:00-21:30
○制作室、事務室 10:00-22:00

休館日
12月28日から1月4日
※設備点検のため臨時休館することがあります

〒604-8156
京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏町546-2
TEL：075-213-1000 FAX：075-213-1004
E-mail：info@kac.or.jp URL：http://www.kac.or.jp/
twitter：@Kyoto_artcenter
facebook：http://www.facebook.com/kyotoartcenter

